

## (公財) 日教弘 教育研究助成事業

### 日教弘埼玉支部 教育実践報告への助成 募集要項

本事業は、埼玉県内各学校・教育機関における個人（グループを含む）または学校を対象として教育実践報告の募集を行い、優れた実践報告を表彰し、助成を行うものです。  
令和7年度は下記要項のとおり実施します。

#### 1 主催

公益財団法人 日本教育公務員弘済会埼玉支部（以下「当支部」という。）

#### 2 後援

埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会、埼玉県公立小学校校長会、  
埼玉県中学校長会、埼玉県高等学校長協会

#### 3 応募要件

##### (1) 趣旨

埼玉県内各学校・教育機関における個人（グループを含む）または学校を対象として教育実践報告の募集を行い、優れた実践報告を表彰し、研究助成金を贈呈するとともに、教弘文庫「教育実践報告集」として刊行し、県内各学校・教育機関に配布して、本県教育の振興に寄与します。

##### (2) 応募対象

埼玉県内各学校・教育機関における個人（グループを含む）または学校

##### (3) 応募部門

- ① ヤング部門 年齢35歳未満の教職員等の個人を対象
- ② 一般部門 年齢35歳以上の教職員等の個人及びグループ（年齢は不問）を対象
- ③ 学校部門 埼玉県内の学校を対象

※ ①、②における年齢の基準日は、令和7年4月1日とします。

※ 応募は実践に基づくものとし、ヤング部門、一般部門（グループを含む）の場合は個人1人（1グループ）につき1編、学校部門の場合は学校1校につき1編の応募とします。

##### (4) 実践・研究の分野とその対象

ア. 教科指導を主とするもの・・・ヤング部門、一般部門（グループを含む）、  
学校部門

イ. 教科指導以外の分野の指導に関するもの・・・ヤング部門、一般部門（グループを含む）、学校部門

ウ. 学校運営、学校間連携、保護者・地域社会との連携などに関するもの

・・・学校部門

##### (5) 応募対象にならないもの

- ① 公的機関等への研究委嘱等に関わる報告書、研究会・市販の図書・教育誌等に既に発表したもの
- ② 他団体に応募済みのもの
- ③ 過去3年以内（令和4年度から令和6年度）の優秀賞・優良賞の受賞者

(6) 応募期限

令和7年8月29日（金）必着（簡易書留でお送りください）

(7) スケジュール

令和7年9月上旬	審査を開始します。
令和7年10月中旬	最終審査を行います。
令和7年10月下旬頃	審査の結果を通知します。
令和7年11月26日（水）	表彰式を開催します。
令和7年12月上旬頃	助成金を贈呈します。

(8) 応募方法

**下記①、②、③は、当支部HPに様式を掲載しておりますので、ダウンロードして作成ください。**

**（様式ダウンロード先: [https://www.kyoko.or.jp/business/research\\_3/#03](https://www.kyoko.or.jp/business/research_3/#03)）**

- ① 表紙に、1. 「上記（3）」の部門①ヤング部門、②一般部門（グループ含む）、③学校部門のいずれの応募であるか、2. 「上記（4）」の分野ア、イ、ウのいずれであるか、3. 所属校・職名・氏名（グループの場合は代表者名、学校の場合は校長名）、4. 研究主題、5. 研究副題、6. 研究の要旨（800字以内）を記入します（「記入例①」を参照してください）
- ② 2ページ目は、初めの6行分を用いて、研究主題、研究副題、所属校、職名、氏名（グループの場合は代表者名、学校の場合は校長名）を記入します。本文は、7行目から書き出します。A4判の用紙を横書き・縦長で使用し、1枚につき、24字×43行×2段組（フォント10.5）のパソコン印字によるもの4枚以内（参考文献、写真、図表等すべての資料を含む）で作成ください。文章は日本語で記述してください。パワーポイントは不可とします（「記入例②」を参照してください）。
- ③ 本文に掲載する写真、図表等すべての資料はしっかりと判読・判別できるものに限ります。
- ④ 「上記（5）」の①、②、③を確認するための「応募要件確認書」（所定用紙）を提出します。
- ⑤ 応募形式を大幅に逸脱する場合には、審査の対象とならないことがあります。

〈個人情報の取扱いについて〉

- ・実践報告に記入された個人情報は、選考及び選考結果の通知のために使用します。
- ・助成が決定した場合は、実践報告に記入された学校名や団体名、助成対象テーマ及び助成金額や表彰式等の模様を、ホームページ、広報誌等で公表することがあります。

4 表彰・助成金額等

ヤング部門、一般部門（グループを含む）、学校部門ごとに（2）のとおり表彰します。

- (1) 入選作品の表彰は、11月26日（水）（予定）に行い、助成金は銀行振り込み、又は郵送により贈呈します。
- (2) 「優秀賞」数編に各8万円、「優良賞」数編に各3万、「佳作」数編に商品券各5千円分を贈り、入選以外の応募者には記念品を贈呈します。
- (3) 優れた実践報告は、教弘文庫「教育実践報告集」として刊行し、県内各学校・教育機関に配布します。
- (4) 「優秀賞」の中から数編を「日教弘教育賞」論文募集（後援：文部科学省）に推薦

します。

## 5 審査及び審査基準

### (1) 審査方法

- ① (公財) 日教弘理事長が委嘱する審査委員が行い、支部長が決定します。
- ② 審査結果を文書で通知します。

### (2) 審査基準

- ①内容が、当面する教育課題に対しての取り組み、実践であること。
- ②実践の成果として、児童・生徒や学校、地域社会等の変容が具体的に見えること。
- ③実践に傾けるひたむきな努力や熱意が感じられること。

## 6 その他の注意事項

- (1) 提出された書類、写真等は返却しません。
- (2) 応募された原稿の著作権は当支部に帰属します。
- (3) 審査結果の情報及び採否の理由についての問い合わせには回答しません。

## 7 提出先・問い合わせ先

公益財団法人 日本教育公務員弘済会埼玉支部

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-12-24 埼玉教育会館7F

(担当) 教育振興・福祉課 教育研究助成係

TEL : 048-822-7554 FAX : 048-834-0550

E-MAIL : [saitama@nikkyoko.or.jp](mailto:saitama@nikkyoko.or.jp)

URL : <https://www.kyoko.or.jp/>

# 表 紙

- [illegible]

- ① こちらの書式を 48 字×28 行×1 段組（フォント 10.5・MS 明朝体）A4 判で設定してください。  
字数・行数に影響するため、フォント等の設定は変更しないでください。
- ② 項目を消さずに入力してください。
- ③ 応募部門を募集案内「2 応募部門」の中から 1 つ記入してください。
- ④ 実践・研究の分野を募集案内「3 実践・研究の分野とその対象」の中から 1 つ記入してください。
- ⑤ 所属校・職名・氏名・研究主題・研究副題は、必ず論文と同一の内容を入力してください。
- ⑥ 研究の要旨は、800 字以内。明確かつ簡潔にまとめて記入してください。

### 記入例②

【研究主題】 小学校の運動会について

【研究副題】 競技を中心とした取組

② 研究副題がない場合は、(なし)と  
ご記入ください。項目や行の削除  
は行わないでください。

【学校・団体名】 埼玉県〇〇郡〇〇町立〇〇小学校

【職名・氏名】 教諭 ○○ ○○

①応募者記載欄は、研究主題、研究副題、応募者の所属学校  
(団体)・職名・氏名が必須項目となります。

上記を1～6行目×2段組（フォント12・MS明朝体）で行  
数が本文と併せて43行になるように記入してください。

③ 学校  
・ヤン

※欠  
麦

③ 学校名（都道府県・市区町村を含め）・団体名は正式名称をご記入ください。

- ・学校部門・・・応募者は校長となります。
- ・ヤング部門、一般部門・・・応募者の所属学校名、職名、氏名を記入してください。

※グループの応募者はグループの代表者となります。所属学校名をグループ名に変えて応募することも可能です。

あああああああああああああああああああああああ  
あああああああああああああああああああああああ

④ 本文は「**24 字×43 行×2 段組（フォント 10.5・MS 明朝体）A4 判横書き**」とします。

字数・行数に影響するため、フォント等の設定は変更しないでください。

(ただし、字数・行数が上記のとおり印字される場合に限り、フォントの大きさは変更可能です)

⑤ 論文は、応募者記載欄（6行）・本文・図表や写真等の資料（A4判1ページ程度の分量以内）を  
全て含めて **A4判4ページ以内**で作成してください。

⑥ 特に図表等に関しては、しっかりと内容が判別できるものに限ります。

⑦ 児童生徒等の写真を掲載する場合は、個人情報保護の観点に留意し、事前に保護者等から掲載の承諾を取り付けたものを使用してください。

### 記入例③

#### 令和7年度 教育実践報告「応募要件確認書」

所属校	浦和小学校	役職名	教諭	ふりがな	うらわ たろう
				氏名	浦和 太郎
			生年月日	(西暦) 1995年 6月 9日	

#### 【応募要件の確認】

下記事項を確認のうえ、該当する項目に○を付けてください。

- 1 今回応募する教育実践報告は、未発表・未応募のものです。

(類似テーマ、論文形式ではない申請書やレポートで応募・発表した場合も含む。)

☒ 「はい」 → 3 へ

☐ 「いいえ」 → 2 へ

- 2 過去に同一または類似した内容で発表・応募済みですが、今回応募する論文は新たな内容を主軸としています。

☐ 「はい」 → 過去の応募書類等を提出してください。そして、3 へ

☐ 「いいえ」 → 応募できません。

- 3 過去3年以内（令和4年度～令和6年度）に、当支部の教育実践報告で優秀賞・優良賞の受賞したことはありません。

☒ 「はい」 → 4 へ

☐ 「いいえ」 → 応募できません。

- 4 要旨及び論文は、要項に基づいた内容及び体裁になっていますか。

(タイトル行や文字数・行数等不備がある場合は、応募対象外となる場合があります。)

☒ 「はい」 → 応募期限までに、簡易書留でお送りください。

☐ 「いいえ」 → 修正して、応募ください。

※ この「応募要件確認書」は、「教育実践報告」とともに提出してください。